

日本育種学会四国談話会第 87 回講演会および公開シンポジウム開催報告

2023 年 11 月 30 日(木) 12 月 1 日(金)に、日本育種学会四国談話会第 87 回講演会および公開シンポジウム(日本作物学会四国談話会および育種学会四国談話会:主催、香川大学農学部ゲノム・遺伝子源解析センターおよび香川大学農学部 農業資源・技術研究センター:共催、香川大学農学部:後援)を香川大学農学部にて対面で開催した。それぞれの参加人数は、日本育種学会四国談話会第 87 回講演会は 26 名、公開シンポジウムは 84 名であった。プログラムと各会場の様子は、下記の通りである。

公開シンポジウム

テーマ:ゲノム編集技術の作物および育種利用

開催日時:2023 年 11 月 30 日(木) 13:30-16:00

開催場所:香川大学農学部 BW106 講義室

プログラム

開催のあいさつ (13:30-13:35)

豊田 正範 氏 (香川大学農学部副学部長)

講演

座長 杉田 左江子氏 (香川大学農学部)

演題 1.「コムギのゲノム編集と野外栽培」 (13:35-14:05)

佐藤 和広 氏 (岡山大学資源植物科学研究所)

演題 2.「ゲノム編集技術を活用したジャガイモ育種素材の開発とゲノム編集ジャガイモ中の外来核酸検出法の検討」 (14:15-14:45)

安本 周平 氏(大阪大学大学院工学研究科 生物工学専攻)

演題 3. 「植物における外来 DNA フリー・ゲノム編集について」 (14:55-15:25)

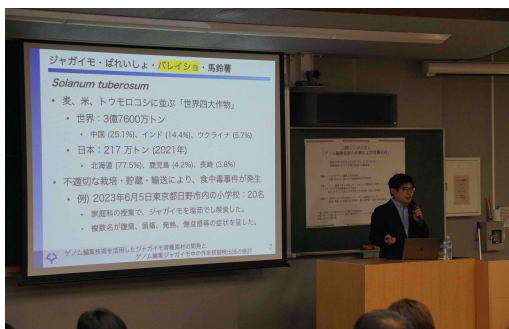
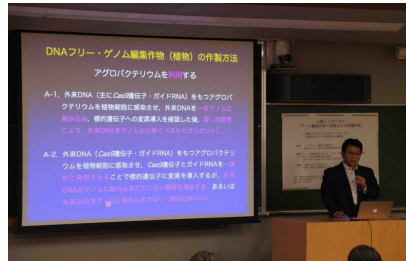
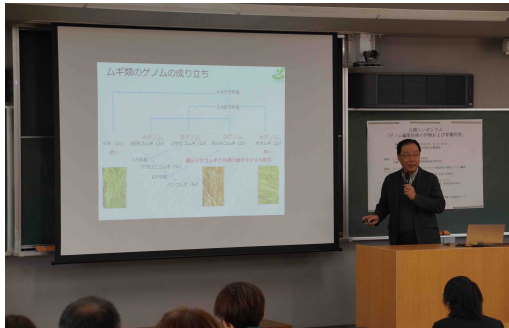
賀屋 秀隆 氏(愛媛大学大学院 農学研究科 食料生産学専攻)

総合討論

座長 杉田 左江子氏 (香川大学農学部) (15:35-15:50)

閉会のあいさつ

諸隈 正裕 氏 (香川大学農学部) (15:50-16:00)



公開シンポジウムの様子

日本育種学会 四国談話会 第 87 回講演会プログラム

日時：2023 年 12 月 1 日(金) 9:00-12:10 頃

場所：香川大学農学部 A401 講義室

【口頭発表】9:00-11:40 頃

発表 12 分、質疑応答 3 分、合計 15 分 (1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 15 分)

1. *Ur1* 遺伝子を有する極多収系統の異なる栽培環境における収量
○上向井美佐¹・Rana Birendra Bahadur²・Bhattarai Mukunda²・稲村勇人³・橋本有生子³・村井正之⁴ (1. 愛媛大学大学院連合農学研究科、2. Nepal Agriculture Research Council、3. 高知大学農林海洋科学部、4. 高知大学名誉教授)
2. いもち病および、ごま葉枯病抵抗性・極多収良食味水稻中生品種‘南国錦’
○村井正之¹・上向井美佐² (1. 高知大学名誉教授、2. 愛媛大学大学院連合農学研究科)
3. イネの新規巨大胚系統‘HGE4’の特性評価
○池田 美月¹・松坂 弘明²・熊丸 敏博²・吉村 淳²・宮崎 彰¹・阪田 光和¹
(1. 高知大学農林海洋科学部、2. 九州大学大学院農学研究院)
4. 多収米‘ミズホチカラ’を遺伝的背景とする新規早生系統の原因遺伝子の解析
○番場 美祐¹・宮崎 彰¹・吉村 淳²・阪田 光和¹
(1. 高知大学農林海洋科学部、2. 九州大学大学院農学研究院)
5. Tobacco shoot induction by transient expression of developmental regulator genes - Can it facilitate transient expression - mediated genome editing?
○Irma Jamaluddin・Hidetaka Kaya・Kappei Kobayashi
(The United Graduate School of Agricultural Sciences, Ehime University)
6. スナビキソウの無菌培養系確立を目指した外植体の検討
○伊藤 佳奏・片岡 圭子・大橋 広明(愛媛大学農学部)

休憩(10 分)

7. サトイモ生産での乗用管理機を利用した省力化防除技術について
○橘 卓三¹・市川 剛士¹・浅海 英記¹ (1. 愛媛県農林水産研究所)
8. サトイモの腐敗要因と効率的土壌消毒省力化法による対策について
毛利 幸喜¹・○浅海 英記²
(1. 愛媛県南予局農業振興課、2. 愛媛県農林水産研究所)
9. ミシマサイコの 2 年生栽培の課題とポイントについて
○田邑 実¹・白石 豊²・浅海 英記¹
(1. 愛媛県農林水産研究所、2. 元愛媛県農林水産研究所)

10. 愛媛県が育成したカンキツ品種のインデルマーカによる識別について

○岡本 充智¹ (1. 愛媛県農林水産研究所)

休憩(10分)

【パネル発表】 11:50-12:10頃

1. ハダカムギの硝子率における実態調査と変動要因

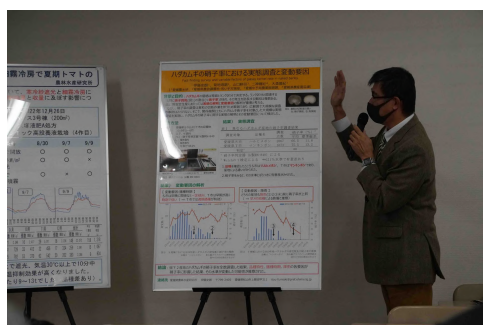
○伊藤 史朗¹・菊地 琢磨²・山口 耕司³・二神 種紀⁴・大森 誉紀¹

(1. 愛媛県農林水産研究所、2. 愛媛県農政課農地・担い手対策室、3. 愛媛県中予局農業振興課、4. 愛媛県農産園芸課)

2. 遮光シートと細霧冷房で夏期トマトの高温対策

清水 光男¹・○浅海 英記¹

(1. 愛媛県農林水産研究所)



日本育種学会四国談話会第87回講演会 パネル発表の様子



日本育種学会四国談話会第 87 回講演会 口頭発表の様子